



マンナ フォト オフィス 代表
しまだ ひろみ
島田 宏美 さん

加古川市平岡町つじ野2-13
TEL: 079-439-8696

1978年生まれ この年の出来事

○日中平和友好条約を締結 ○新東京国際空港(現在の成田国際空港)開港 ○キャンディーズが後楽園球場でのコンサートをもつて解散 ○ピンク・レディーの「UFO」「サウスポー」「モンスター」が年間チャートTOP3を独占 ○ディスコブーム、ミニコンポ・インペーダーゲームなどが流行

48歳

2018年に、念願だったフォトスタジオを東加古川にオープンしました。

スタジオの内装は、白い漆喰壁で統一し、流行りに左右される事なく、年月を重ねても色褪せない「シンプル」にこだわりました。撮影は午前・午後の1日2枚のみ。お子さまのご機嫌やご家族のペースを大切に、ゆとりあるスタイルでお迎えしています。赤ちゃんの頃から、毎年ご来店くださるご家族も多く、温かくリラックスできる雰囲気づくりを心がけています。

また、子ども用を中心に約200着のお着物をご用意しており、衣装選びから楽しんでいただけたらと思っています。撮影プランには約80枚のデータをお付けしておりますので、ぜひパパ・ママはもちろん、おじいちゃん・おばあちゃんも一緒に撮影をお楽しみ頂きたいです。たくさん撮影した中から80枚を厳選する作業は、大変ですが、皆さんに喜んでいただけるよう丁寧にセレクトし、1枚ずつ修正も行っています。

2026年は、久しぶりにマルシェなどのイベント出店にも挑戦したいと考えています。地域の方々とのつながりを広げながら、スタジオの魅力を知っていただききっかけになれば嬉しく思います。また、これまで加古川や稻美の飲食店などを取材し、地域情報のフリーペーパーを3号まで発行してきました。4号の制作を目標に、今後も継続して地域に貢献できる活動を続けていきたいと考えています。

同じ自営業者さま向けに、お店や商品の撮影も承っております。宣材写真・メニュー写真・SNS用のカットなど、魅力が伝わるよう、撮影させていただきますので、ぜひお気軽にご相談ください。



播翠園芸 代表
しぶたに のぶひこ
瀧谷 信彦 さん

加古川市神野町石守404-1
TEL: 079-426-6233

1966年生まれ この年の出来事

○メートル法完全施行、尺貫法などの公的な使用が禁止される ○ビートルズが日本武道館で初公演 ○住民登録集計で総人口が1億人を突破 ○ミニスカートが流行

60歳

東播磨道北行き神野ランプを過ぎたあたりから左手に「播翠園芸」の黄色い文字が良く見えます。この区間の開通後しばらくすると「道路の上から見えるこの店が気になって来ました」と言う方が時々来られるようになりました。昨年11月末に全線開通し、今後ますます交通量が増えると幹線に面していないこの立地でも、店自体が目立つ看板の役割になってくれたらと期待しています。

草花や野菜苗、鉢物、観葉植物、各種苗木、輸入雑貨、園芸資材等を多く取り揃え、贈答用のラッピングも行っています。父が創業当時からやっていた貸植木もしています。契約数は減りましたが、現在でもオフィスやホテル等に観葉植物などをレンタルしています。来店されるお客様は草花や園芸資材を買い求める一般の方が大半ですが、造園業者が小さめの庭木を探しに来られる時もあります。当店では、お客様が好みそうな商品を仕入れ、親切・丁寧に接客することでお客様に喜んでいただけるよう心掛けています。

数年前に病気が見つかり手術のため入院、昨年も一時入院するなど、スタッフに仕事を代わってもらい負担と心配を掛けてしまいました。現在は、様子を見ながら体力回復に努めているところです。趣味で近くの公民館へ月2回参加している「和太鼓サークル」にも今年は復帰したいと思っています。

また、最近の酷暑では時期に合わせて種を撒いても、暑すぎて発芽しなかつたり生育不良になったり、害虫も外来種が増え、冬も生き残っている虫もいます。あらためて、気象に影響されやすい仕事だと実感させられます。庭いじりできる季節が少なくなっていますが、朝夕に作業するなど工夫して、ぜひ草花や野菜づくりなどを続けて楽しんでいただきたいです。当店では、水やり、種まき、育て方などご相談いただきましたら、出来る限りのアドバイスをさせていただく「相談できる園芸店」を続けてまいります。



年男・年女に聞く

~今年の抱負~

新年あけましておめでとうございます。

令和8年は午年。今年「年男・年女」にあたる午年生まれの会員の方々に、各年代を代表して今年の抱負等を語っていただきました。



みさと整骨院 代表
ごとう みさと
後藤 美里 さん

加古川市別府町新野辺北町7丁目6-2-101
TEL: 080-4487-5363

1990年生まれ この年の出来事

○イラクによるクウェート侵攻「湾岸危機」
○西ドイツと東ドイツの統一 ○バブル景気、いざなぎ景気に次ぐ戦後2番目の長さに ○B.Bクイーンズ「おどるポンポコリン」が大ヒット ○三井銀行と太陽神戸銀行が合併、太陽神戸三井銀行が誕生

36歳

19歳から整骨院の受付で働いていましたが、その整骨院で資格保有者が退職するため整骨院を継続できない事態に遭遇、その経験から私が資格を取れば今後、同様の心配は無くなるのではと考え、23歳で専門学校に入学しました。3年間、全く知識も無かった医療関係の勉強に打ち込み、念願の国家資格を取得しました。4~5年勤務の後、平成31年2月に最初は加古川町北在家で独立開業し、その後、今の場所に移転しました。

整骨院用ベッド1台と美容用ベッド1台を置き、整骨院のほか男女とも対応できる全身美容も実施するなど、ひとりで頑張っています。その人に合った治療法を見つけるため、その人の症状や痛みなどの特徴を詳細に聞き出すことが重要で、コミュニケーションが大切になります。体の不調を根本治療するため、例え腰痛ならその原因を探して治療します。マンツーマンで施術しながら、いろんな悩みの相談をお聞きしたり、心身ともにリフレッシュしていただくことを目標としています。日に日に良くなっていくのを見ると、心からホッとしてしますし、その過程は楽しみでもあります。私がするとは思ってもない、縁あって始めた整骨院の仕事ですが、今では天職では?と思います。広告も出さず主に口コミだけですが小学生から80歳代の方まで通っていました。

昨年は、妊娠・出産・育児もあって1年休んでいましたので、通っておられた方にはご迷惑をお掛けしました。当初は、産後すぐに仕事復帰できるのではと思っていたが、初めての子育てはそんなに甘くありませんでした。ハイハイ・つかまり立ちと成長するにつれて心配も高まります。徐々に仕事を始めているところですが、2026年は、保育園に預けられたら、4月から本格的に再開したいですね。子供と一緒にいながら、この場所で仕事が出来れば良いのですが、少し手狭ですし、毎回うるさくしてご迷惑をお掛けするのも申し訳ないです。

子供連れでも行けて産後の骨盤矯正もできるマッサージがあれば、すぐにでも私が行きたいくらい。将来は、ママさんたちのサロン的なスペースも用意できたら理想的ですね。